

ウ. 空気感染予防策（エアータンプリコーション）

病室	陰圧換気の病室にて個室隔離。集団個別管理は可能。換気装置がない場合は1時間に6回以上の外気との換気を実施。 ドアは閉めておく。 面会謝絶の札を出す。 保菌者は標準予防策に準じる。
エプロン	標準予防策に準じる。
マスク	結核－全ての面会者及び医療従事者は濾過マスク（N95 マスク）が必要。フィットテストを行う。（個人使用） 患者が病室から出るときはサージカルマスクが必要。
手袋	標準予防策に準じる。
手洗い	標準予防策に準じる。
使用後器材	標準予防策に準じる。
食器類	標準予防策に準じる。
器械	標準予防策に準じる。
リネン	標準予防策に準じる。
ベッド清掃	標準予防策に準じる。
便器・尿器	標準予防策に準じる。
感染性廃棄物	標準予防策に準じる。 喀痰は感染性廃棄物として処理する。
清掃	標準予防策に準じる。

●N95 マスクの使用法

■N95 マスクの使用のポイント

- ①N95 マスクは医療従事者や家族が空気予防策にて使用する。患者は外科用マスクを使用する。
- ②結核患者をケアするときは、入室者全員（医療従事者、家族など）が必ずN95 マスクを着用する。麻疹と水痘の場合は、感染の既往があれば着用する必要はない（ただし、患者が咳などをしていれば、標準予防策として外科用マスクは必要となる）。既往のない者（ワクチン接種者を含む）はN95 マスクを使用する。
- ③フィットテストとシールチェックを行い、正しいフィットが得られない場合は病室に入らない。
- ④あご髭がある場合には使用しない。
- ⑤マスクが破損したり、呼吸が苦しくなったときは、すぐ病室から退去する。
- ⑥マスクが汚れたり、ゴムバンドが破損した場合には、新品のマスクに交換する。

⑦結核患者に使用したマスクは、破損あるいは汚れたら交換する。保管するときは個人で清潔に管理する。水痘や麻疹の患者に使用したマスクは使用ごとに新品のマスクに交換する。

■N95 マスクの装着法



① マスクを手を持つ



② マスクのゴムを表側に出す



③ マスクを上下に開く



④マスクの鼻当て部と顎当て部を開き、顎全体を包み込むようにかぶせる



⑤上のゴムバンドを頭頂部近くにかける。
次に下のゴムバンドを耳より下の首の後ろにかける。ゴムは上下交差させない



⑥鼻当て部は鼻柱の方向へ引っ張り、顎当て部は顎の下にくるようにして、適切なフィットが得られるよう調節する



⑦両手の指で鼻当ての中央から端へ向かって押さえながら、鼻当てを鼻の形に合わせる



⑧マスクを顔に密着するよう調整する

■N95 マスクの脱ぎ方

- ① 首の後ろのマスクのゴムバンドを外し、その後、頭頂部のゴムバンドを外す。
- ② 廃棄するときには、マスクの表面に触らないように捨てる。
- ③ 廃棄後、手洗いする。

フィットテストとシールチェック

1) フィットテスト

自分に合うサイズのマスクを選び, 装着法と装着感を確認するために実施する. 初めて N95 マスクを使用するとき, 新規採用時や顔の形状が変化したときなどを含めて定期的に行う.

- ① N95 マスクを装着する.
- ② フードをかぶる.
- ③ サッカリンをフード内に噴霧して甘みを感じるか否かを確認する.
- ④ 甘みを感じなければフィットテストは合格であるが, 感じれば N95 マスクを再調整する.
- ⑤ 年に 1 回の訓練として, また患者入院時の訓練として行う.



年に 1 回あるいは, 患者入院時にフィットテストを実施する

2) シールチェック

毎回入室前に「陽圧チェック」と「陰圧チェック」を行い, 空気の漏れがないか確認する.

・陽圧チェック

- ① マスクの表面を両手で覆ってから, ゆっくりと息を吐く.
- ② マスク周囲から空気の漏れを感じればマスクの位置を変えて, 再度チェックする.
- ③ マスク周囲から空気の漏れを感じなくなれば, 陽圧チェックは成功である.

・陰圧チェック

- ① 優しく息を吸って, N95 マスクが顔に吸い付くように真空を作りだす.
- ② マスクが顔に向かって引きつけられなかったり, マスクの周囲から空気の漏れを感じたら, マスクを外して, 欠陥 (小さな穴) がないか, マスクが顔 (特に鼻の周囲) に合っていないかなどを調べる.
- ③ マスクに穴が見つからなければ, 位置を変えて調整し, 陰圧チェックの 2 回目を行う.
- ④ チェックが不成功であれば, 新しい N95 マスクを試す.



フィットテスト

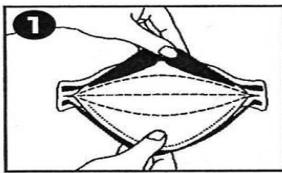
- ・ 確実なフィット感を確認する
- ・ いろいろなタイプやサイズの N95 マスクのなかから, 自分にマスクを選び出す手段である



シールチェック

- ・ 空気の漏れがないか、入室前に毎回確認する

3M N95 微粒子用マスクの着用方法



フォーム中央を親指で押し、鼻当てを曲げながら開きます。鼻当て部とあご当て部を開く時、上下のゴムバンドを上下に分けてください。あご当て部を確実に開いてください。



上のゴムバンドを頭上に引っ張り、頭頂部近くに掛けます。次に、下のゴムバンドを頭頂部を通し、耳より下の首まわりにつけます。



鼻当て部は鼻柱の方向へ引っ張り、あご当て部はあごの下に位置するようにして、快適なフィットが得られるよう調節します。



両手の指で鼻当ての中央から端へ向かって押さえながら、鼻当てを鼻の形に合わせて、マスクが鼻に密着するようにします。



フィットチェック

両手でマスク全体を覆い、空気の洩れをチェックして、密着のよい位置にマスクをあわせることが大切です。

〔着用方法〕

①



マスクの鼻あてを指のほうにして、ゴムバンドが下にたれるように、カップ状に持ちます。

②



鼻あてを上にしてマスクがあごを包むようにかぶせます。

③



上側のゴムバンドを頭頂部近くにかけます。

④



下側のゴムバンドを首の後ろにかけます。

⑤



両手で鼻あてを押さえながら指先で押さえつけるようにして鼻あてを鼻の形にあわせます。

⑥



両手でマスク全体をおおい、息を強くはき出し空気が漏れていないかチェックします。